

令和2年6月1日

敬愛短大附属幼稚園だより 6月号

新型コロナウイルスの影響で幼稚園も通常の生活がなかなか出来ませんでしたが、ようやく段階を踏みながらも普段の幼稚園生活ができるようになってきました。

しかし、第二弾の流行も懸念されており、今後も気が抜けない状況が続くと思われます。ウイルスへの過度な反応もよくありませんが、必要なできる限りの対応と備えは行う必要があります。また、言葉は適切ではないかもしれませんが、ウイルスとどのように共存して行くかが大切と識者も述べています。危険を常に避けてばかりでは、いざという時に危険を適切に避けることが出来なくなってしまいますので、今回の自粛生活等での経験から学んだことを今後どのように活かしていくかが大切と考えます。

幼稚園では、一学期に予定していた数多くの行事の中止や大幅な修正等がありますが、大切な幼児期の教育を進めて参りますのでご協力をお願い致します。

① 私の自粛期間中の製作物のひとつ



これは「テンセグレティ」というものですが、スヌーピーが乗っている板は空中に浮いていて、写真ではわかりにくいかもしれませんが、5本の糸が中央と四隅に配置されているだけです。また、どの糸を1本でも切るとバランスを失い、スヌーピーは落下してしまいます。

物体には「重心」がありますが、ヨットの様に重心が低いと転覆しにくくなります。しかし、この写真では重心が上部にあって、普通では転倒するはずですが、科学を難

しく考えずに「どうしてだろう」という気持ちや好奇心が子どもも大人も大切です。(あえて解説はしません) お子さんと一緒に大人が楽しむことがとても大切です。

② 室内から外遊びへ

自粛期間、各ご家庭では室内でお子さんが過ごすことが多かったことと思います。幼稚園での生活が始まりましたら、できるだけ外遊びができるように心がけたいと思います。気候的には梅雨やその後に日差しが強くなる時期を迎えますが、徐々に体を慣らしながら園庭での活動量を増やして体力をつけさせたいと考えています。子どもたちは体が慣れていないと思われるので、不意の転倒などにも十分気をつけながら保育を行います。同時に室内での集団生活での過ごし方や行動も自分でコントロールできるようにして行きたいと考えていますので、ご家庭でも園での生活の仕方について毎日の様子を聞き取りながらお子さんと一緒に話し合ってみてください。初めての幼稚園生活のたんぽぽ組さんや年少さんで幼稚園が初めてのお子さんは、まだ先生やおともだちとの生活経験も少ないためすぐには難しいので、毎日の様子をお子さんからたくさん聞いてあげてください。

(園長 杉山清志)